

重点分野2 (中目標)	基礎的社会サービスの向上												
開発課題2-1 (小目標) 水供給の改善	【現状と課題】 同国における給水事業は、地方部における給水率は44.5%（2000年）から67.5%（2015年）へと向上したものの、安全な水へのアクセスは47.4%と中央アジア地域において最も低いレベルであり、引き続き改善が必要な状況にあり、当国の国家開発計画（2016-2030）においても重点分野として掲げられている。そのため、同国国民の生活と安全の向上のために、安全で適切な給水システムを確立することが喫緊の課題となっている。			【開発課題への対応方針】 同国において貧困率が高く、給水状況も劣悪なハトロン州を中心に、安全な水へのアクセスが制限されている地域への支援を行う。									
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考	
	給水改善プログラム	安全な水へのアクセス率が低いタジキスタンの地方において、特に状況が深刻な地方住民への供給が包括的に改善されることを目標とする。		ピアンジ県・ハマドニ県上下水道公社給水事業運営能力向上	技プロ	2018年度以前	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	3.57	
				給水分野の課題別研修	課題別研修								
給水分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力				草の根無償							0.20		
開発課題2-2 (小目標) 保健システムの強化	【現状と課題】 タジキスタンの母子保健指標は改善傾向にあるものの、依然として他の中央アジア諸国に比して妊産婦と子供の死亡率は高い（新生児死亡率20.5/千出生、乳児死亡率38.5/千出生、5歳未満児死亡率44.8/千出生、妊産婦死亡率32/10万出生）（WB World Development Indicators, 2015）。国家開発戦略において、母子保健を含む保健サービスの利用可能性とアクセス及び質の向上は、保健分野の重点のひとつとなっている。			【開発課題への対応方針】 特に母子保健指標の悪いハトロン州に重点をおき、医療施設の建設・修繕、機材整備と保管理向上、啓発活動強化、医療従事者の能力向上などを通じて、母子保健サービスの利用可能性とアクセス及び質の向上を図るとともに、妊産婦及び乳児の死亡率低下に向けた対策支援する。また、異なる援助手法を有機的に組み合わせるとともに、他ドナーとの連携を図ることによって、プロジェクト間の相乗効果を上げ、全体としての成果の向上を図ることとする。またこれまで日本が実施してきた技術協力の成果をもとに、ハトロン州以外の母子保健サービスへのアクセス向上の取組を支援し、さらに今後課題として重要となると考えられる非感染性疾患対策に対応ができるような保健システム強化に向けた先方政府の取組を支援する。									
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考	
	保健システム強化プログラム	人間の安全保障の観点から、乳幼児・妊産婦の死亡率の低下及び基礎的医療サービスの向上を目指し、母子保健分野を入り口としつつ、保健システム強化を行う。		ハトロン州母子保健システム改善プロジェクトフェーズ2	技プロ							5.40	
				医療機材保守管理体制向上	個別専門家							0.30	
				シフォバパッシュ国立医療施設医療機材整備計画準備調査	協準								
				救急車両整備計画準備調査	協準								
				リハビリテーション分野のJICA海外協力隊派遣	JOCV								
				保健分野の課題別研修	課題別研修								
				小児疾患予防・管理計画	無償							6.33	UNICEF連携
				国家家族計画事業強化計画	無償							2.00	UNFPA連携
保健医療分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償							0.30					

開発課題 2-3 (小目標) その他社会サービス	【現状と課題】 若年層を中心とする貧困層の劣悪な生活環境が過激派を生む土壌となっていることから、地方を含む国内全体の防災、環境、教育等の分野において、住民の生活環境の底上げが重要な課題となっている。			【開発課題への対応方針】 同国において貧困率が高い地方の住民及び障がい児に対するインクルーシブ教育など、同国民の全体的な生活環境を向上させるために支援を行う。							支援額 (億円)	備考			
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間										
					2018 年度 以前	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度					
その他社会サービス	地方における生計安定のため、農村開発に寄与する支援を実施する。	災害リスク軽減及び対応能力強化計画	無償	■	■						11.72	UNDP連携			
			JOCV	■	■										
			NGO連携	■	■							0.99			
			草の根無償		■							0.52			
重点分野3 (中目標)	安定化促進														
開発課題 3-1 (小目標) 国境管理・治安対策	【現状と課題】 アフガニスタンと長大な国境を接し、中央アジア諸国を含む地域にとって麻薬・テロリズム・過激主義からの防波堤となっているタジキスタンの安定を維持・促進することは、タジキスタンの今後の持続的な発展のために不可欠であるのみならず、地域及び国際社会全体の安定と発展にとっても極めて重要である。 他方、ソ連崩壊後から10年以上の間、ロシア国境警備隊がタジキスタンの国境管理を担ってきたが、2005年8月にはロシアからタジキスタンへすべての国境管理体制の移管が行われた。タジキスタンは、国際機関並びに各国ドナーと協力しつつ、同国とアフガニスタンとの国境管理に関する責任を負う意図を表明しているものの、現在の管理体制は脆弱であり、国境管理の実施に向けて能力強化のための国際的な支援を求めている。 国境管理体制の強化をはじめとした治安対策の向上は、①犯罪社会に対する障壁を作り、入国管理所を通る人とモノの移動において、両国民に好適な環境を提供し、②対麻薬密輸に係る管理を強化し、③武装勢力及びテロリストの侵入を防止し、④不法移民の侵入を防止することとなるものであり、右実現が同国における優先的な課題である。			【開発課題への対応方針】 中央アジア地域諸国の国境管理能力の強化をはじめとした治安対策の向上は、2014年に開かれた「中央アジア+日本」対話第5回外相会合における共同声明「中央アジア諸国と日との間の互恵的パートナーシップの新たな10年」においても不可欠と改めて認識されており、また、2015年10月24日の安倍内閣総理大臣訪問の時に発出された「日本国とタジキスタン共和国との間の新たなパートナーシップに関する共同声明」においても国境管理及び府対策の分野において協力する重要性が指摘されている。特にアフガニスタンとの国境における税関などの機能強化、及び麻薬対策に係る能力強化を支援する。							支援額 (億円)	備考			
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間										
					2018 年度 以前	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度					
	国境管理・治安対策プログラム	国境管理を強化することにより、麻薬密輸・テロ対策の強化を図ることを目標とする。 麻薬取引・テロの撲滅を目指し、同国の麻薬取引防止、治安向上、テロ防止を目標とする。	タジキスタンのアフガニスタンとの国境の効果的な管理を通じた国境を越える協力促進計画(BMP)	無償	■									4.68	UNDP連携
			第二次タジキスタンのアフガニスタンとの国境の効果的な管理を通じた国境を越える協力促進計画(BMPフェーズ2)	無償	■	■	■							5.06	UNDP連携
			国境管理・治安対策分野の課題別研修	課題別研修	■	■	■	■							
ハトロン州国境安全強化計画			無償	■								2.67	UNODC連携		
経済社会開発計画			無償	■	■							5.00	テロ、治安対策分能力向上		

現在



人
目
め



各
国
初
年



備



省も
安
ア

止、
転
つ

度

ス

守河を圖と保れ援

三

一

点
成

上
国
無
礎
調
定